



SUPPORTERS CLUB NEWS

# 友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501

青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94  
七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
鷹山宇一記念美術館友の会

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860

## 会員の熱意を伝える

### 鷹山画伯の絵画購入積立金を寄付

会員相互の自己啓発と美術館に対する応援を目的として、美術館友の会が結成されてから本年度で7年目になります。友の会では主要な事業のひとつとして、平成8年度より毎年、絵画購入資金を積み立ててきました。6月2日に開催された総会において、積立額が百万円に達したことから鷹山先生の絵画購入の一助として寄付をすることが承認され、総会終了後、会長より財団法人鷹山宇一記念美術振興会の青山淨晃理事長に目録が渡されました。

#### 御礼の言葉

「友の会」会員の皆様には、つね日頃、美術館にお心を寄せて戴きまして、誠に有難うございます。

さて、6月2日に行われました「友の会総会」において、鷹山宇一作品購入資

金として百万円のご寄付を頂戴いたしました。財団といたしましては、このような多額のご寄贈を戴き御礼の言葉もございません。大切なパートナーの「友の会」より、大事な絵画購入資金をお預かりいたしました財団は、ご厚志に充分報いるよう協議いたし、鷹山宇一記念美術館に相応しい作品を購入いたします所存でございます。

この「友の会」は、美術館ができる、すぐに発足いたしました。友人、知人に美術館へのお誘いやご案内を始め、企画展での監視

ボランティア、講演会、研修旅行の世話役など、ご多用な皆様方の、数え切れないほどの恩恵に与つて、美術館は今日まで歩んでまいりました。

会員の皆様方のお力添えがなかったら、これだけの美術館に発展はしなかったことでしょう。そのような皆様方の大切な会費を、長い間積み立てて、今回の作品購入資金をおつくり下さいました事、本当に有難く、心より御礼申し上げます。

又、七戸ロータリークラブ創立35周年記念事業として絵画購入資金10万円を同クラブよりご寄付戴きました。重ねてのご厚情に責任の重さを痛感いたしました。それにいたしましたも、

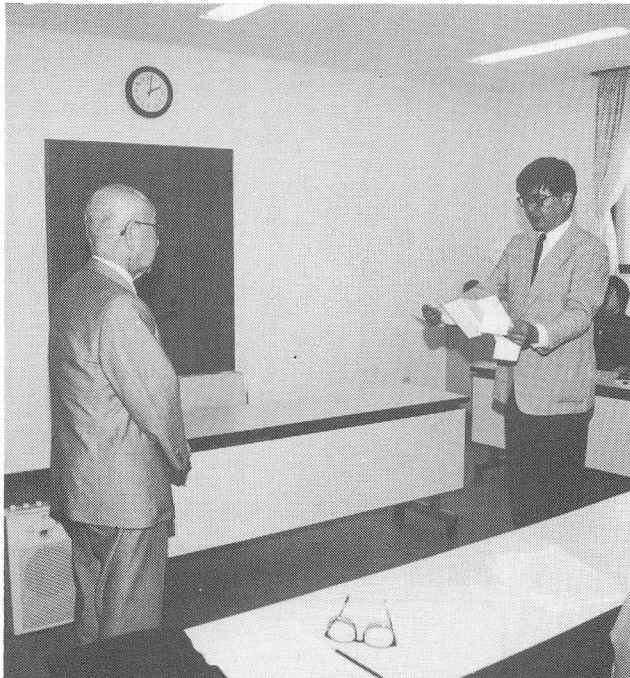
父、鷹山宇一は、何と幸せな人間でありましょうか。生前父が一度もご挨拶いたしてない、多くの方々に支えられて「鷹山宇一記念美術館」が存在しております。

奇しくも今日は「父の日」です。父を偲びながら、このことを忘れずに、私は職務に精進いたします。ありがとうございます。

平成13年6月17日

鷹山宇一記念美術館

館長 鷹山ひばり



▶目録を読み上げる山本会長(右)と財団法人鷹山宇一記念美術振興会 青山理事長(左)



講演中の鷹山館長

#### 美術講演会を開催(6/2) 父 鷹山宇一を語る 講師 鷹山宇一記念美術館 館長 鷹山ひばり氏

例年どおり総会終了後に美術講演会を開催しました。40人近くの聴講者で会場の美術館2階工房は満席となりました。鷹山家のルーツから画家としての日常まで、興味の尽きないお話で大変勉強になる時間を過ごすことができました。講演の内容については次号にてご紹介いたします。

■議案第1号■H12年度事業報告並びに貸借対照表・収支決算書承認の件

■□□□■ 奉 告 ■□□□■

貸借対照表

平成13年3月31日現在 単位:円

資 産 勘 定		負 債 ・ 繰 越 金 勘 定	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	4,766	前 受 会 費	1,331,000
預 金	2,668,120	平 成 13 年 度	1,322,000
青 森 ・ 七 戸	1,627,790	平 成 14 年 度	6,000
七 戸 郵 便 局	240,330	平 成 15 年 度	3,000
青 森 県 入 庫 金	700,000		
10年分貯蓄金	100,000		
前 払 費 用	138,310	負 債 勘 定 計	1,331,000
		給 画 購 入 積 立 金	700,000
		別 途 積 立 金	100,000
		前 期 繰 越 金	330,110
		当 期 剰 余 金	350,086
		繰 越 金 勘 定 計	1,480,196
合 計	2,811,196	合 計	2,811,196

収支決算書

平成12年4月1日～平成13年3月31日 単位:円

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事 業 費	1,208,254	会 費 収 入	1,779,000
助 成 金	743,000	寄 付 金 収 入	1,240
会 報 発 行 費	180,600	雑 収 入	1,330
図 書 研 究 費	70,560	協 賛 事 業 収 入	630,000
研 修 費	139,094		
会 員 加 入 費 用	75,000		
事 務 費	223,075		
会 議 費	10,000		
印 刷 費	1,100		
通 信 費	160,905		
諸 手 数 料	8,455		
事 務 用 品 費	31,515		
慶 弔 費	3,000		
雑 費	8,100		
協 賛 事 業 費 用	630,155		
支 出 計	2,061,484	収 入 計	2,411,570
当 期 剰 余 金	350,086		
合 計	2,411,570	合 計	2,411,570

事業報告

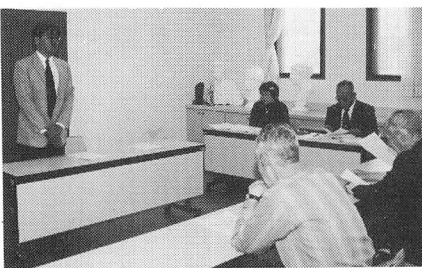
1. 展覧会等監視ボランティア活動
  - 春季二科展 (4/29～5/28) 参加人数・延べ107人
  - 青森県/美術館のつゆ展 (7/1～7/9) 参加人数・延べ26人
  - 手塚治虫の世界展(7/20～8/31) 参加人数・延べ66人
  - 椿絵名品展 (9/30～10/29) 参加人数・延べ52人
2. 研修旅行並びに講習会
  - ① 芹沢銈介美術工芸館、宮城県美術館(東北の画家たち展) 5/14(日) 13名参加 【仙台市】
  - ② 秦の始皇帝と兵馬俑展 8/20(日) 23名参加 【青森市】
  - ③ 県立郷土館(常田健展)、棟方志功記念館 【青森市】 10/1(日) 17名参加
  - ④ 紅型染め講習会 8/26(土)、27(日) 20名参加
3. 会報の発行(4回)
  - 第19、20、21、22号を発行
  - ※第21号は2ページ増ページ
4. 美術講演会
  - 第2回美術講演会を平成12年6月3日、通常総会終了後実施。
  - 演 題: 私が出会ったアーティストたち
  - 講 師: 東奥日報社社長 佐々木 高雄氏 36名参加
5. 絵画購入積立金
  - 平成11年度剰余金処分により20万円を積み増し、累計で70万円となりました。
  - 別途積立金
    - 新たに平成16年度の友の会結成10周年記念事業に向け、10万円を積み立てしました。
6. 「手塚治虫の世界展」に協賛して、アニメーションの原理を理解し、簡単な動画を作る講習会を開催しました。

鷹山宇一記念美術館友の会

平成13年度通常総会から

平成13年度通常総会が6月2日(土)美術館工房において開催され、会員138名(委任状を含む)が出席、平成12年度の事業報告、貸借対照表、収支決算書並びに剰余金処分案、また、平成13年度事業計画と収支予算案が原案通り承認されました。剰余金処分案承認により、絵画購入積立金に30万円を積み増し、累計で100万円となりました。このことについて、総会出席中の戸館昭吉会員から、当初の目的の100万円に達したのだから、美術館が鷹山画伯の絵画を購入する機会が来た時有効に活用できるように、本日の総会で指定寄付の決議をしていただきたい、との提案があり、皆さんに諮ったところ全員の賛成が得られましたので、総会終了後寄付金の贈呈式を行いました。事業計画では、会員の加入促進を図るため、新規・更新会員全員に鷹山画伯のデッサンシート1枚を差し上げることとしました。研修旅行は、7月15日(日)津軽海峡三厩美術館、10月21日岩手県立美術館を予定しております。会員の皆様の参加をお待ちしております。なお、第2回目となる海外研修旅行については、目的地を「イタリア」とし、実施時期は平成16年1月下旬、七戸町発着で11日間を予定し、旅行会社については安全で楽しい企画を念頭に、サービス、行程、費用等について比較検討している旨、奥山副会長から経過報告がありました。詳細については役員会に一任されております。また、第3回となる美術講演会は、「父、鷹山宇一を語る」と題して、長女の鷹山ひばり館長にご講演いただきました。42名の方が熱心に聴講され、鷹山家の家系、人間としての鷹山宇一を語り、大いなる感銘を与えてくれました。

総会の様子



■議案第3号■H12年度事業計画案並びに収支予算案承認の件

収支予算案(案)

自平成13年4月1日 至平成14年3月31日

収入の部 単位:円

科 目	内 訳 科 目	金 額	備 考
前期繰越金		280,196	
会費収入	260人	1,800,000	法人 25社 500,000 特別 85人 850,000 一般 150人 450,000
雑収入	預金利息	1,000	普通預金、定期預金
収入合計		2,081,196	

支出の部 単位:円

科 目	内 訳 科 目	金 額	備 考
事業費		1,244,000	
	助成金	754,000	法人 9,200 230,000 特別 4,400 374,000 一般 1,000 150,000
	会報発行費	200,000	会報印刷費、取付費
	図書研究費	50,000	映像作品の購入費
	研修費	80,000	講師謝礼、バス運転代行料
	会員加入促進費	160,000	画架、茶席購入費
事務費		280,000	
	会議費	10,000	総会、役員会、監査会等
	通信費	210,000	会報等郵送料
	事務用品費	20,000	事務用品、消耗品費
	諸手数料	10,000	会費監督手数料外
	慶弔費	20,000	祝儀、香典
	雑費	10,000	その他
支出合計		1,524,000	
予備費		557,196	当期剰余金 277,000 前期繰越金 280,196
合計		2,081,196	

事業計画(案)

1. 展覧会等監視ボランティア活動
  - 春季二科展 (4/28～6/3)
  - 第61回国際写真加展 (6/6～6/17)
  - 藤子不二雄の世界展 (7/20～9/2)
  - 平山郁夫展 (9/29～10/28)
  - 第1回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展/併催:第1回鷹山宇一記念美術館展入賞作品展 (11/23～12/16)
2. 研修旅行
  - ① 津軽海峡三厩美術館 (7/15)
  - ② 岩手県立美術館 (10/21)
3. 会報の発行(年4回)
  - 第23、24、25、26号を発行
4. 第3回美術講演会
  - 通常総会終了後実施。
  - 講 師: 鷹山ひばり館長
5. 毎年度終了後に剰余金が生じた場合、友の会の運営に支障のない範囲で次の通り積立する。
  - ① 友の会結成10周年記念行事のための資金

■議案第2号■H12年度剰余金処分案承認の件

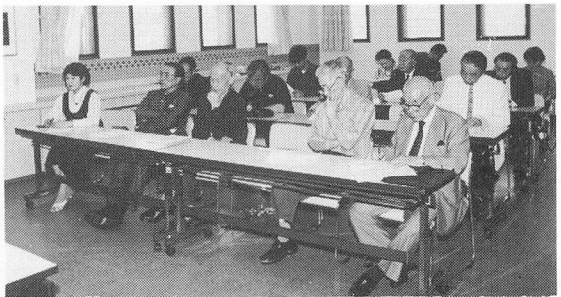
1 当期未処分剰余金

前期繰越金	330,110	円
当期剰余金	350,086	
計	680,196	

2 次の通り処分したい。

絵画購入積立金	300,000	円
別途積立金	100,000	
次期繰越金	280,196	
計	680,196	

☆ 絵画購入積立金は累計で、100万円になります。別途積立金は累計で、20万円になります。

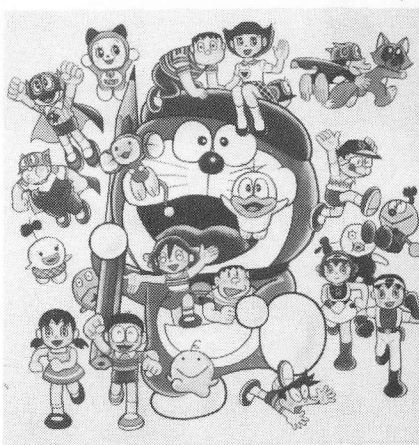


総会の様子



# 藤子・F・不二雄の世界展

2001年7月20日(金・祝)～9月2日(日)まで  
会期中は無休



© 藤子プロ

## インフォメーション

■共催 ■東奥日報社

■入館料 ■一 大人5000(6400)円  
 小学生3000(4000)円  
 中学生3000(2400)円

※(一)内は20名以上の団体及び前売料金。友の会員の皆様特典とおりに入館いただけます。

■前売券販売所 ■  
 青森市松木屋セゾンチケット/紀伊国屋書店  
 弘前店/イオン柏ショッピングセンター/イオン下田ショッピングセンター/八戸市三春屋/レイガイド/成田本店とわだ店/むつ松木屋/ジャスコ七戸店/七戸町丸美屋商店

## 藤子・F・不二雄(ふじこ・ふじお)

本名・藤本弘(ふじもとひろし)  
 昭和8(1933)年12月1日、富山県高岡市に生まれる。

小学校時代、転校してきた宍孫子素雄(あひこもととお)後の藤子不二雄(あ)も漫画好きと知りスッカリ意気投合。手塚治虫に憧れ、影響を受けて、共同で漫画の執筆活動をはじめ。

昭和26(1951)年、「毎日小学生新聞」にて「天使の玉ちゃん」でデビュー。

昭和29(1954)年、本格的な作家活動を目指して上京、これより宍孫子と共に、二人で一人の異色の漫画家(藤子不二雄)として活動する。「オバケのQ太郎」「パーマン」「ドラえもん」はじめ「キテレツ大百科」「エスパー魔美」などヒット作品を次々に生み出す。

昭和62(1987)年、長年のパートナーであった宍孫子とのコンビを解消。新たに一人の漫画家(藤子・F・不二雄)として活動を開始。その後「ドラえもん」をはじめ多くの児童漫画を手掛ける。

平成8(1996)年9月23日、逝去。享年62歳。

漫画は「アハハッ」で終わるおかしなもの、滑稽なもの、それだけが全てではない、人間模様や社会現象、空想や科学など、もっと複雑な要素だつて表現できる。少年時代に出会った手塚治虫に衝撃を受け、手塚治虫に影響されて漫画家になった、藤子・F・不二雄もそんな漫画家の一人です。平成8年、惜しまれつつこの世を去るまで、45年もの間児童漫画を描き続け、漫画でどれだけ表現ができるのか?漫画という夢を追い続けました。(オバケのQ太郎)「パーマン」そして「ドラえもん」など、その作品は子どもたちはもちろんのこと、かつて子どもだった大人たちをも魅了し、今もお愛されています。

「あんなこといいな、できたらいいな」と、ドラえもんの歌にもあるように、夢や希望を沸きおこさせてくれる少し不思議なお話たち。しかもそれは、私たちの身近な、ごくごく普通の日常生活を舞台に繰り広げられます。スッカリお話の世界に引き込まれ、現実の中に在りながらも、空想の心地よい世界に心を放ち遊ばせることができる。そして、そんな彼の作品たちは、私たちが大人になるごとに見失いがちな「ホントはすごく大切な何か」を思い出させてくれます。

昭和45年、はじめて登場して以来今もお私たちを魅了し続ける「ドラえもん」。漫画家自らが「のび太は、僕自身なんです。」と語ったこの作品は、彼のライフワークとなりました。本展では、藤子・F・不二雄が描いたドラえもんをはじめとする作品の原画や著作本、お気に入りの愛用品などにより、彼が漫画に託して表現しようとした世界、そして、藤子・F・不二雄の魅力に迫ろうというものです。この夏、ご家族で藤子・F・不二雄の世界を覗いてみませんか?ご来館をお待ちしています。

## 美術館日誌

- 【3月】
  - 人形作家 奈良多実星氏来館 / 東北町立東北中学校PTA 9名様ご来館(3日)
  - 七彩会油絵教室開催(4日)
  - 青森レディーフォーラム主催 講演会「地球を愛する女性たち」元気印の女たち(鷹山館長 講師として出席。ホテル青森においで) (8日)
  - 平成13年度美術館予算作成 会議開催(10日)
  - 火曜サロン開催(13日)
  - 七彩会油絵教室開催 / 平成13年度鷹山宇一記念美術 振興会第1回理事会及び評議員会を開催(18日)
  - 七戸町文化協会主催講演 会講師として来町の、伊藤竹三氏ご来館(21日)
  - 十和田湖おがみさんの会主催講演会「女が頑張る話」鷹山館長講師として出席。薫温泉旅館において(27日)
  - 藤子・F・不二雄展会場下見のため、スパー・スタッフ・カノン(一)吉田氏、デザイナー長川氏来館(30日)
- 【4月】
  - 七彩会油絵教室開催(8日)
  - 藤子・F・不二雄展展示物第一弾到着(10日)
  - 青森食紀行AV取材(11日)
  - 友の会役員会開催(14日)
  - 春季二科展展示作業のため臨時休館(24・27日)
- 【5月】
  - 上北町保健協力員の会主催講演会「命の重さ」鷹山館長講師として出席。上北町保健福祉センターにおいて(26日)
  - イオン下田ショッピングセンターにおいて開催の前田真三写真展「テラカット」鷹山館長出席 / 春季二科展オープン・グレセプション開催、二科会から絵画部理事・伊庭新太郎先生並びに、彫刻部評議員・吉野毅先生においで(27日)
  - 春季二科展初日 / 館収蔵洋ラング修理のため、二科会彫刻部会員・島田絏一呂先生においで(28日)
  - 七戸町立七戸小学校第4学年児童美術館を見学 / NHK青森文化センター(8日)
  - 一科会絵画部監事・中山三郎先生ご来館(13日)
  - 木崎野小学校PTA総務研修委員会10名様ご来館(24日)
  - 青森県立七戸養護学校生徒12名様美術館を見学(25日)
  - 七彩会油絵教室開催(27日)
  - 二科会彫刻部評議員・三國恭三先生ご来館(28日)
  - 三沢市読書団体協議会23名様ご来館(29日)
  - 七戸町立倉岡小学校全校児童美術館を見学(31日)



▲ラング修理にご協力いただいた島田先生

# 春季二科展

盛況にフィナーレ!  
4/28~6/3まで37日間の会期中  
県内外から3,949人  
多くの美術ファンで賑わいました

4月27日(金)、本展の開催に先立ちオープニングレセプションが行われました。当日、社団法人二科会を代表して「来館くださいました、絵画部理事・伊庭新太郎先生より」祝辞を頂戴いたしましたので、ここで紹介させていただきます。



▲遠路京都から「来館」下さいました  
二科会絵画部理事・伊庭新太郎先生

ご紹介いただきました伊庭と申します。実は私、この年齢になるまで日光より北へまだ来たことがなかったんです。今日が始めてでございまして、しかも私は飛行機嫌いでもございまして、館長さんに無理を言いました、どうしてもJRの切符を取ってくれと言いました、昨晩の9時ぐらいに京都を出まして、寝台に揺られてこちらへ参りました。本場に遠いなどという実感を覚えている最中と申します。その代わりと申すと何でございませうけれども、車窓から眺めておられますと、本当に今爛漫の春のようでございます。私は京都でもうそれを参りましたので、2度目の春を堪能したなどと、非常にうれしく思っております。

今日ちよつと見せていただきますと、受賞者作品つていうのは会場の都合で省かれておりまして、会員もすべてでは無いようでございますけれども、大体このようにして春は展覧しているものでございます。二科会と申しますのは、皆さんご案内のように、1914年に有島生馬、石井柏亭、梅原龍三郎、坂本繁二郎などなどそうそうたるメンバーによって設立されたわけでございます。その間、有名な画家が数多く輩出されて、そしていくつもの美術団体も生まれてくる、そういうことでございます。創立当時の誰が起草したのかは知りませんが、これも、「二科会趣旨」という文章がございます。これが画集の第1ページを飾るものでございますけれども、これがなかなか名文でございます。今もって古びたところが無く、ますます光芒を放っている、そういう趣旨でございます。我々はその趣旨を何とか守り続け、その趣旨に添うように日夜努力をしております、こんなところでございます。今年の9月になりますと、86回二科展ということになりました。86回と一口に申ししましても、85年間も続いている

わけでございます。非常に一つの団体がそんなに長く続いて来るといふのは、世界的に見ても、先ほど稀有の何とか、とおっしゃっておりますが、稀有な存在だと思ふんですね。レセプションの前にロビーのところ、書棚の本を見ておりましたら、あれは光風会でしたか?70年史つていうのが出ておりました、日本には院展だとか光風会だとか二科会と同じような年齢を持った団体がございません。共に世界的には稀有な存在ということになります。二科会趣旨に添いましたようなことをやっては行くんだすけれども、85年間の歴史というものは随分長いもので、現在の我々は85年間の歴史から、両手にあまるほどの大きなたくさんさんの遺産を持つていられるわけです。それは、作家の偉大な業績であるとか、あるいは精神であるとか、そういうものでございまして、そういうものの中から、現在我々、以上な恩恵を受けているわけですね。ですから今回の展覧につきましても、この地に鷹山先生という偉大な作家がお出でにならなかつたら、鷹山先生が二科会にお出でにならなかつたら、このよう展覧はなかつたわけござ

いまして、鷹山先生のご縁と言いますか、そういうものに非常に感謝を申し上げている次第でございます。鷹山先生のご遺徳に一步でも近づけるように、心掛けていかなければいかんかなと、そのように考えている次第でございます。絵だとか作品だとか、そういうものは一人が制作して一人が鑑賞するものではございませんで、できるだけ多くの人に見ていただくこと、そのことが自明のこととして、作品、あるいは絵の中に含まれているんです。そういう意味では、この地でより多くの人たちに見ていただくことは、これは喜ばしいことであるし、ここに並んである作家たちの冥利に尽きると、そのように思います。そして、願わくばこの二科展が、この地で多少なりとも美術振興のお役に立てると申しませうか、そういうことになれば望外の望みで、喜びでございます。

この展覧会の開催については、大変なご尽力をいただきました。今日はお出でになかったようですけれども、七戸の町長さんをはじめまして、助役さん、そして七戸の皆様方、また、この館の館長である鷹山ひばりさん、スタッフの方々、大変なご尽力をいただきました。深く感謝をする次第でございます。

この展覧会が最終日を迎えますまで、盛況のうちに続いていくことを心より祈念をいたしまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 二科会云々趣意

二十世紀の初頭から、常に時代の最前線を歩いてきた本会は、本年第86回展覧会を開催する。発足以来、長い歴史が語るように、一貫して二科の伝統精神は、現代を認識する徹底性に於て一流一派式に会の方向を限定する態度を採らない。このことは、新しい価値の創造に向かつて不断の発展を期する本会必然の信条であると共に、全会員に対する制作上の自由をあくまで擁護するゆえんである。流派の如何を問わず、新しい価値の創造者は拔擢され待遇されるであらう。かくて本会を新しい美の温床たらしめようとする努力は我々不変の鉄則である。我々は常に世界的視野に於ける新しい価値の創造者として、清新澀刺たる歩みを続けよう。

(2001年春季二科展図録より)



6/30 (土) 美術館でコンサート開催!

初夏の風にのせて  
デュオ・ソルティ★コンサート  
ギター・ホルン・クラリネット

6月30日(土)、鷹山宇一記念美術館絵画室1、2を会場として、ギターとフルートの二重奏を開催いたします。

鷹山宇一先生の幻想的な絵画と、やさしい音色に囲まれた至福のひとつときを皆様と過ごしたい、と企画いたしました。

奏者は、ギター・佐藤俊(さとうたかし)氏。スペインへ留学し、ホセ・ルイス



1998年秋に結成された、デュオ・ソルティの二人。デュオ・ソルティとは、「北の二重奏」という意味のスペイン語です。

主催◆アニメシオン七戸◆後援◆七戸町教育委員会、七戸町文化協会、鷹山宇一記念美術館、美術館友の会

・ゴンザレス氏に師事、スペイン各地でコンサート活動し、帰国後は岩手県盛岡市を拠点に演奏や教授活動をしております。フルートは松尾光穂子(まつおみほこ)氏。岩手県内外で演奏活動を行っております。盛岡市在住ですが、ご両親は当七戸町にお住まいです。

鷹山宇一記念美術館に併設されているスペイン民芸資料館、スペインという国

名を冠する当施設との関わりが、今回、コンサートという形で現れました。目で見て、耳で聴いて、日頃の忙しい自分にちよつと時間のプレゼントはいかがでしょうか…。皆様のお越しをお待ちしております。

日時◆6月30日(土)

開場：午後6時

※午後7時まで美術館内展示作品をご鑑賞いただけます。

演奏：午後7時～9時

※コーヒータイム15分有り

会場◆鷹山宇一記念美術館

料金◆おひとり2千円

※美術館入館料込み。

送迎バスを運行します◆

午後6時 中央公民館発

午後9時頃 美術館発

主な演奏曲◆

フルート・ソナタ(バッハ)

白鳥(サンサーンス)

モルダウ(スメタナ)

アルハンブラ宮殿の思い出(タレガ)

シチリアーノ(フォーレ)

ハンガリー田園幻想曲(ドップラ)

ほか

報告★第61回国際写真サロン展

6月6日(水)～6月17日(日)までの12日間、写真愛好家らで賑わいました

今回で5回目となる第61回国際写真サロン展が終了しました。今年も、審査委員特別賞6点を含む海外80点、国内50点が展示されました。また、今回新たな試みとして、昨年の第60回展会期中に行われたモデル撮影会写真

「ヤマちゃんのワンポイントレッスン」と題して写真教室が開催され、2時間にもわたり撮影テクニック等について講演をいただきました。



講師の山村行志先生。

午前中には、全日本写真連盟関東本部委員の山村行志先生を講師にお迎えし、

会期最終日の6月17日には、サロン展会期中の恒例事業となりました。全日本写真連盟青森県本部主催による写真教室(講義)とモデル撮影会が、美術館を会場に開催されました。

コンテスト入賞作品展も併せて開催され、美術館併設のスペイン民芸資料館に20作品が展示されました。



▲午後からのモデル撮影会にも、町内外から多くの写真家たちが集まりました。

きました。上十三地区はじめ県内各地から多くの写真家たちが参加し、熱心に聴講しておりました。

午後からは会場を好天に恵まれた美術館中庭に移し、七戸町出身の築場美由樹さん、遠藤恵理さんの2名をモデルさんをお願いして撮影会が行われました。2人も初めてのモデル経験でしたが、「こつちを向いて」「微笑んで」などなどカメラマンのリクエストに一生懸命応えておりました。

また、今回撮影された作品による写真コンテストが開催されます。本年9月下旬結果が発表され、鷹山宇一記念美術館長賞をはじめとする入賞作品約20点については、明年の第62回国際写真サロン展会期中に併せて展示の予定です。



▶会場にギッシリ。多くの聴講者で埋め尽くされた写真教室会場。



▲(右から)モデルの2人、山村先生、全日本写真連盟総本部事務局長・酒井氏。

# 平成13年度国内研修旅行

## 津軽半島バスの旅

### 津軽海峡三厩美術館

募 集

平成13年7月15日(日)

■日 時

出発：午前8時  
解散：午後5時頃を予定  
(共に七戸中央公民館)

■会 費 3千円  
(交通費・昼食代・入館料込)

■募集人員 35名(先着順)

■締 切 7月8日(日)

■申込み 美術館まで

TEL 0176(62)5858

同じ青森県に住んでいても、なかなか行く機会のない津軽半島。昨年オープンしたばかりの三厩美術館は、館長の牧野慶逸さんが私財を投じ、廃校になった三厩中学校を県産木材・ヒバなどを使用して改装。館長個人のコレクションを展示するなど、美術館として蘇らせたものです。木造の温かみのある古い校舎は、私たちがタイムスリップさせて、ノスタルジィの世界へ連れて行ってくれそうです。本県出身作家など、そのコレクションにはもちろん鷹山作品もあり！是非皆さん、ご一緒しませんか!!



※出発地七戸町から三厩村までは車でおよそ2時間30分〜3時間！長旅となりますがドライブ感覚で車窓を楽しみながら参りましょう！また、村の花・アジサイが道路両脇にズラリとどこまでも続く「アジサイロード」は見事の一言！文字通り、アジサイの道です。

### お知らせ

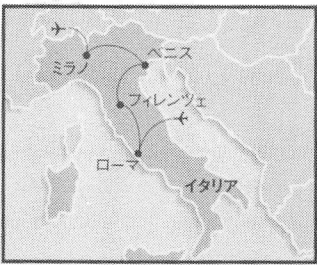
平成13年度研修旅行はこのほか、本年10月盛岡市にオープンする岩手県立美術館へ、10月21日(日)日帰り旅行、を予定しております。その開館記念展第1弾、西洋近代美術のコレクターとして世界的に知られる、スイスのメルツバッハー夫妻のコレクション展を鑑賞いただく予定です。詳しくは、次の会報24号にてご紹介募集します。お楽しみに。

# 決定！友の会海外研修旅行

## イタリア★ルネサンス紀行

平成16(2004)年1月開催予定

ローマ・フィレンツェ・ベニス・ミラノ、イタリア主要4都市を中心に巡る、美術紀行!!  
詳細は次号で紹介いたします



イタリアとの時差はおおよそ8時間。気候は全体的に日本の気候と似ていますが、湿度が低く冬は寒く感じられるようです。

スペイン旅行帰国直後から、参加した方々、また、都合により参加できなかつた方々から、「次はイタリアに行きたいネ!」という話を持ち上がり、「予算の関係上積立等をしていから、早く計画を立てて欲しい」との要望も多く、まだ先の話なのですが、役員会等で数回に渡り話し合いを持ちました。旅行会社について一社に限らず、数社からいろいろなご意見・プラン・見積りなどをいただいた上で、その上で決定した方がよいという意見もあり、6月11日、臨時役員会を開催し話し合った結果、このたびのように決まりましたのご報告いたします。

なお、日程等詳細、参加者の募集開始については、

9月15日発行予定の次の会報24号にてお知らせいたします。

今年イタリア年と称して、テレビ、新聞等で賑やかにイタリアが取り上げられて、

■ローマ 約3000年前の遺跡が眠る永遠の都。世界文化遺産の約3分の1を有し、街そのものがまるで博物館のよう。

■フィレンツェ 貴族・メディチ家によりルネサンス文化が開いた都市。街全体が美術館と呼ばれるほどの美しい街です。

■ベニス 水の都「アドリア海の真珠」と代名詞は枚挙にいとまがない街。迷路のように張り巡らされた運河にはくつのも橋が架かり、しっとりとした情緒が漂います。

■ミラノ レオナルド・ダ・ヴィンチ最後の晩餐、ゴシック様式の壮麗なドゥオモなど必見。現在はイタリアンモード発信地としても有名です。



映画「ローマの休日」でも有名で「真実の口」。ギリシャ神話に出てくる半人半魚の顔と言われる円盤で、うそつきがこの顔の口に入れて、手が抜けなくなる、という言い伝えがあります。

- 企画主催 ■ 鷹山宇一記念美術館友の会
- 旅行主催 ■ 近畿日本ツーリスト青森支店
- 募集人員 ■ 30名で予定
- 旅行代金 ■ 30万~35万くらいで計画中

★編集後記★

今年度も、美術館ではいろいろな企画展が目白押しです。少ない人数で頑張っている、館長をはじめ職員の方々の皆さんを見ると、私たちの会会員にできることは、いろいろな方にクチコミで美術館にたくさん入館していただくことかな、と思う今日この頃です。

フィレンツェ・ウエッキオ橋、「古い橋」という意味の名の通り、アルノ川に架かる橋の中では最も古い。

れています。できるならば、自分自身の足でその地に立つてみたいものです。

是非皆さんお誘い合わせの上、ご一緒にイタリアへ飛んでみませんか!

